

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	中津川市家庭教育支援チーム (呼称:すくすくわくわくまあるいこころ)
②活動拠点	<u>中津川市にぎわいプラザ3F</u>
③活動範囲	<u>中津川市全域</u>
④組織体制	<u>40</u> 人 岐阜県子育てマイスター 40人(内 保育士資格 4人、幼稚園教諭 1人、 教職資格 4人、看護師資格 2人、民生委員 3人、主任児童委員 1人、 子育て支援員 6人、子育て支援士1人)
⑤活動開始年度	<u>平成21年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 Viva 中津川 事務局 小川弘美 (TEL) 090-7028-5455 (E-mail)maaruikokoro1111@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団託児 行政、学校、企業等が開催する乳幼児健康診断、講座、会議、授業参観、イベント等において、子育て中の保護者が参加しやすいように、集団託児を行う。 ・子育て支援拠点事業 子育て支援センターの業務受託 保護者同士の交流の場として、読み聞かせの会を週1回、子育てサロン、ねんねの赤ちゃん会、手作りおもちゃの会を毎月各1回開催している。また、気軽にお子さんの身長体重を測定できる機会を、平日予約制で行っている。こうした中から、お母さん同士をつなげたり、悩み相談を受け、必要に応じて行政の各部署へつなげている。 ・各公民館が開催する乳幼児期家庭教育学級の企画・運営・サポート 行政担当者と学級生をつなぎ、母親である学級生の意見を学級運営に反映させ、学級生が自主的に取り組める体制を補佐していく役割を担っている。 ・親子交流行事等の講師 他団体が開催する行事等で、親子ふれあい遊び、手作りおもちゃ作り、パルーン遊び、読み聞かせ等の講師として、親子がふれあうことの楽しさ、大切さを伝えている。 ・幼稚園、学校への読み聞かせ活動 ・行政が開催する職場における家庭教育理解講座(ライフ・ワーク・バランスセミナー)の企画・運営・職場における家庭教育理解講座(ライフ・ワーク・バランスセミナー)の企画・運営
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>活動を開始するまでは、乳幼児期健診に子どもを2人連れて、健診や相談等に集中できず大変な思いをしていた母親が多くみられた。幼保、小学校の未就園児を連れての授業参観も同様だった。</p> <p>また乳幼児期の子育てをしているお母さんが参加できる、講座、教室、イベントはほとんどなかった。</p> <p>活動を開始してからは、行政が開催する子育てについて学ぶ講座が格段に増え、子育てに悩んでいる親たちが、悩みを共有したり、リフレッシュして、また子育てを頑張ろうと思える機会が多くなり、子育てを楽しむ親や、コミュニティーとつながることができる親が多くなった。</p> <p>家庭教育支援チームのメンバーは、地元にいる母親経験者たちで、集団託児、子育て支援センター、講座の企画運営・講師等として、1年を通して毎日6～7人くらいのメンバーが活動していることから、より身近に感じてもらえ、アンケートでは「中津川市で子育てできて良かった」、「子育てがしやすい街である」という意見が多く聞かれるようになった。</p> <p>家庭教育に関心を持つ人が増え、幼保保育園、小中学校のPTA活動に積極的に関わる人材が増えている。</p>

	<p>シニア世代で、「昔の子育てはこうだった」ではなく、「今どきの子育てについて学ぼう」、「空いている時間を子育て支援に活かそう」という方が増えてきた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (中津川市子育て支援センター 業務委託)</p>